エピローグ　No5

みんなの結論は…キャシーを犯人として拘束することであった。

彼女はさして抵抗することもなく取り押さえられる。

やがて…夕刻になり、警察が彼女をひきとろうとした時、それまで終始無言だったロンが叫んだ。

「ちがう!! 彼女は犯人なんかじゃないっ。 支配人を殺したのは僕なんだっ!!」

「いいえ、ロン…。庇ってくれなくていいの。これで…良かったんだわ。」
キャシーが小さくつぶやく…

みんながざわつきだす…
この隙を待っていたかのように、キャシーは走り出した。ロンがそれを追う…

しかし彼が追い付くよりも早く…山々を渡る白霧に包まれた崖下へ飛び降りた。

ロンは一瞬 絶望の表情を浮かべるが、やがて何かを悟ったかのように静かに笑い始め…
そして、彼女のあとを追って白霧の中へ消えていったのである。

あっと言う間の出来事であった。

結局、ふたりの遺体は見つかることは無かった。

それから数年の歳月が流れ…

ホテルは取り壊されることとなった。

今では跡地となったすみに小さなふたつの墓標があるだけである。

私は…今年もその墓標に花を添えにやってくる。

ハリーの手記より